

まちのニュース

『旬』の味覚を満喫 泊野観光たけのこ園

春の恒例行事となった「泊野観光たけのこ園」（たけのこ掘りツアー）が3月27日と4月3日に泊野地区で開催されました。

今年も鹿児島市などから約200人が参加し、園主や地元の方からのアドバイスを受けながら、土から少し顔を出した「たけのこ」を慣れない手つきで一生懸命掘っていました。

その後、泊野地区林業集会所で「たけのこづくし」の昼食で旬の味覚を満喫しながら五ツ太鼓の演奏や抽選会を楽しんでいました。

また、毎年参加される常連さんも多く、昼食後に地区の方々と焼酎を飲み交わす姿も見られました。



たけのこ料理に舌鼓



たけのこ掘りに挑戦する参加者



通水式の様子

金山地区

簡易水道通水式

3月20日、平成16年度から17年度まで継続事業で実施している金山地区簡易水道施設整備の送水管、配水池が完成し、また配水管布設も一部完成したため通水の安全を祈願し通水式が行われました。

通水式では、地元関係者など約80人が出席し、山口町長（旧薩摩町）が仕切弁を開け水道水を放水すると、出席者から大きな拍手が上がっていました。

祝賀会では、山口町長（旧薩摩町）のあいさつの後、金山自治公民館長の辻松靖浩さんが「永年の念願であった金山地区への水道設備が実現しました。合併の年に通水ができたことを皆さんとともに喜びたい」とあいさつされました。

転入教職員の集い

4月8日、本町の小・中学校に新しく赴任された46人の教職員歓迎会及び宣誓式が行われました。

歓迎会では、山口昭幸町長職務執行者と中山森夫教育委員長のあいさつの後、本町の特産品「梅ジュース」で乾杯し、「たけのこ」や「こぼろ」をふんだんに使った料理で会食が行われました。

その後、宣誓式が行われ、上三垣利幸事務主査（薩摩中）と曾山愛子教諭（宮之城）が宣誓しました。



宣誓する曾山教諭

安全で衛生的な給食の提供

宮之城学校給食センター落成

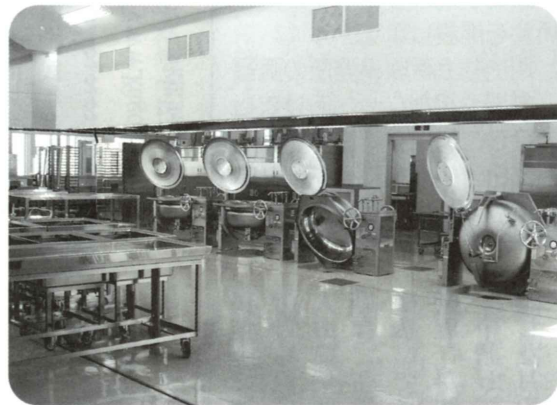
3月30日、調理能力が2,000食まで対応可能なフルドライシステム方式を取り入れた宮之城学校給食センターの落成式が行われました。

これまで旧宮之城町内10校の小中学校では、学校での自校式による給食運営がなされていましたが、今回給食センターが完成したことにより、平成17年度からは全学校の給食がこの施設で調理されることとなり、より安全で衛生的な給食を子どもたちに提供できるようになりました。

当日は、落成式に引き続き、関係者を招いての給食試食会も行われ、家庭の味と変わらない温かい給食に出席者からも好評を得ていました。



関係者によるテープカット



安全で衛生的なフルドライシステム方式



給食試食会の様子

薩摩中央高等学校開校式・入学式

4月7日、鹿児島県教育委員会の高校再編整備計画に基づき新設された薩摩中央高等学校の開校式・入学式が行われ、200人の第1期生が新たな一歩を踏み出しました。

宮之城高等学校と宮之城農業高等学校を統廃合する薩摩中央高等学校は、宮之城農業高等学校の敷地にあり、普通科80人、生物生産学科40人、農業工学科40人、福祉科40人の4学科5学級の200人で、特徴として社会性を育むため学科の枠を超えて科目履修できる県内初の総合選択制が採り入れられています。

入学式では、大迫勝次校長の式辞に続き、新入生を代表して北園梓さんが「両校の伝統を受け継ぎ、勉強や部活動に励みたい」と宣誓を述べました。



宣誓する北園さん



山口町長職務執行者の開校祝辞